

国際財産法補講：国際取引法(私法系)の案内

国友 明彦

一 授業概要

【内容】 売買・運送・支払に関する国際取引法（私法系のみ）を扱う。ここにいう国際取引法とは、民法（特に契約法）、商行為法、海商法のうち国際取引特有の問題を対象とするものの総称である。具体的には、インコタームズ、国際物品売買に関する国際連合条約(CISG)、国際海上物品運送法などである。

国際財産法の通常の講義は狭義の国際私法（準拠法を指定する法）を対象としており、前述の国際取引法（私法系）までは扱っていないため、この部分について補講を行なう。

【対象者】 今年度の国際財産法履修者のみならず、昨年度までに履修した学生、法曹養成研修生も歓迎。国際財産法を履修したことがない学生も学部等ですでに国際私法を履修していれば参加可。

二 教材等

【教科書(概説書)】 下記のうちいずれか1冊以上を読むことを薦める

- ・佐野寛『国際取引法[第5版]』（2023, 有斐閣）：「第3章 国際取引法」（ただし、第4節「国際貨物保険」、第6節「製造物責任」を除く。）〔この3冊のうちではやや詳しく。〕
- ・松岡博編『国際関係私法入門〔第4版補訂版〕』（2021, 有斐閣）：「第3編 国際取引法」（ただし、第22章第2節「国際保険」を除く。）〔吉川英一郎〕
- ・早川吉尚=森下哲朗編『国際取引法入門』（2024, 有斐閣）：「第3章 国際物品売買契約」（ただし、第6節「製造物責任」を除く。）〔第1～4節：福井清貴，第5節：種村祐介〕，「第4章 国際運送・保険・決済」（ただし、第2節「保険」を除く。）〔小池未来〕
〔これはLS資料室にはまだ入っていない。杉本図書館開架には入っている。〕

【判例集】 神作裕之=藤田友敬編『商法判例百選』（2019, 別冊ジュリスト243号）
〔基礎的と思われる判例に絞って取り上げる。どの判例を取り上げるかは事前に知らせる。〕

三 日程・講義計画・場所

【日程】3月7日(金) 3～4限

10日(月) 3～4限

14日(金) 3限

【講義計画】

第1回 売買(1): インコタームズ, CISG(1)

第2回 売買(2): CISG(2)

第3回 運送(1): 国際海上物品運送[国際海上物品運送法および平成30年改正前の同法から商法典に移った規定](1)

第4回 運送(2): 国際海上物品運送(2)

第5回 運送(3): 国際航空運送に関するモンテリオール条約, 支払(主として信用状について)

【場所】 法学部棟 8F 名誉教授室(エレベーターホールからすぐ左手)

四 授業の方法 講義形式を基本とする。一部, 事前に Question を出して当てる方法も併用するかもしれない。

* この補講では成績評価はしない。

** LS の正規の科目の「国際取引法」は公法系の内容で, それとは無関係。

◎ 参加希望者は kunitomo@omu.ac.jp までメールをください。質問や要望も同アドレスまでどうぞ。